シルバー ふじえだ

平成27年8月20日
第53号
発行
公益社団法人
藤枝市シルバー人材センター
藤枝市藤枝五丁目3番20号
☎054－641－5565
会員数　男 652名・女 347名
計　999名（7月20日現在）

印刷　株式会社石垣印刷

〔本郷の農家、滝下哲さんの茶園〕

農家を"サポート"
農作業の支援（お手伝い）

どこの地域でも少子高齢化が進み、生活環境の中で様々なことが課題になっています。

このような地域社会で、シルバー人材センターの会員が、市内の事業所や家庭などで、現役時代に培ってきた知識・経験を活かして、会社の仕事や家事支援などの作業に励んでおり、感謝されています。

その一つが農家をサポートする仕事です。

高齢で田畑の耕作が困難になったり、作業の手助けが必要な時、農家の要望に応えて、農作業を支援する活動をしています。

こうした活動が、少しでも農業の地域起こしの一助になればと、会員が活躍しています。

〔農家の方の感想〕

"茶園の管理や畑の耕作など"大変助かるよ。

年間とおして、忙しい時に応援に来てくれるので、ありがたい。これからもお願いしたい。

◆シルバー人材センターへの入会案内◆

現役を引退し、年齢60歳以上の方で、健康と生きがいをもって働きたい方は、ぜひ、入会して会員になってください。入会の相談はセンター事務局へ、直接または電話でどうぞ！

※センターの住所・藤枝五丁目3番20号

〈電話〉641・5565

公益社団法人藤枝市シルバー人材センター
平成27年度　定時総会の開催

6月20日に藤枝市シルバー人材センターの平成27年度定時総会が市生涯学習センターで開催されました。総会出席者は221名（書面表決者504名）で、議事として平成26年度の事業報告、収支決算報告及び監査報告が行われ、いずれも満場一致で承認されました。

また、本年は役員の改選期で新役員の選任議案も承認されました。

来賓としてご出席いただいた北村市長様をはじめ植田市議会議長様、佐野様・落合様両県議の方々から励ましのご挨拶を頂き会員一同心強く感じ、成功裡に総会を終了いたしました。

平成26年度事業 事業実績は 3億9千6百万円

国のデフレ脱却と経済再生に向けた成長戦略、いわゆる「アベノミクス」による景気回復は、地方ではまだ実感できない状況です。

このような環境下でシルバー人材センターの第2次中長期計画の確実な実施、就業開拓等に取り組んできました。

事業実績は公共や企業からの受注した契約金額は、前年度対比1.8%（740万円）の減で3億9千6百万円余。配分金は1.4%減の3億4千5百万円余となりました。また会員数は、前年度に比べ7名の減で、平成21年度をピークに減少が続いています。

シルバー独自の企画提案事業としての「健康・生きがいシルバー農業事業」や「生活環境改善にここにサポート」「農業体験学習会」「シルバー流健康体操教室」には多くの高齢者や子供たちの参加を頂き、地域貢献の一環として事業実績を上げました。

［挨拶］

新たな40周年に向けて更なる発展を目指す

理事長　大井　市郎

会員多数の出席のもと平成27年度定時総会が、公私ともにお忙しい中を北村市長様をはじめご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催できましたことは、誠にありがたく、感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は、藤枝市シルバー人材センターの、創設30周年を記念した年でありましたが、本年度はこれから将来に向けて、新しい節目となる40周年へのスタートの年であります。

当センターの事業も、厳しい時代が続くことが予想されますが、常に前向きに問題をとらえて、更なる発展を目指して頑張って行かなければならないと思っております。

私たちは、全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）の傘下にあり、そして県・市の組織として構成されています。

全国各地のシルバー会員は、約75万人おり、平成26年度の仕事の総受注額は、3千億円余の実績となっています。

これは会員一人ひとりの努力によるものであり、シルバー人材センターが国の施策にも大きく貢献していることと思います。

このシルバー人材センターの事業について、国は、新規の助成事業として、市民生活の向上に役立つ内容の企画提案方式に助成するようになりました。

そこで、当センターも平成27年度は、この企画提案事業が展開できるように、会員をはじめ、役職員一丸となって、知恵を出し合い、更なる発展を目指し頑張りたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申しあげます。

平成27年度の事業計画と予算

我が国の景気は緩やかな回復を続けていると言われますが、地方ではまだその影響は少なく、今後も事業実績の上昇には厳しいものがあります。

企業等の継続雇用制度の採用により事実上の定年が伸びており、60歳からのシルバー入会者の減少が考えられます。

しかし、一方では超高齢化社会が一層進む中で、働く意欲のある高齢者が誇りと生きがいを持って社会の担い手となる活動が出来る場として「シルバー人材センター」が期待され、センターの果たす役割がますます重要となってきております。

本年度は、第2次中長期計画の着実な推進を図るため、次の項目を基本方針とし、年度ごとの数値目標を掲げ、目的達成のための施策を講じて行きます。

〔基本方針〕

1. 会員の増強と就業機会の積極的な開拓
2. 安全就業の徹底と適正就業の推進
3. 技能会員等の拡大と技能向上の推進
4. 効率的な組織運営と財政基盤の確立
5. 介護保険事業等の推進
6. 福祉・家事援助サービス事業の推進
7. 普及啓発活動の推進

〔数値目標〕

会員数	１，０３５人
就業実人数	８８１人
就業率	８５．１２％
契約金額	４億１，４７０万円

［祝辞］

地域社会に根ざした新規事業に期待

藤枝市長　北村正平

藤枝市シルバー人材センターの定時総会が、このように盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

日頃からシルバー人材センターの皆様には、藤枝市政にご理解とご協力を頂いており、心から感謝を申し上げる次第であります。

皆様方の活動の新しい試みとしまして、耕作放棄地を活用した〝健康シルバー生きがい農業支援〟と〝買い物弱者支援〟を組み合わせた「生活環境改善にこにこサポート事業」に取り組んで頂いておりますが、この耕作放棄地問題とか買い物弱者支援などの新たな事業は、私たち藤枝市が抱えている課題でもありまして、地域社会の課題に根ざした意義ある事業であります。藤枝市としましても、シルバー会員の皆様がこうした事業に取り組み活躍していただくことに期待しているところであります。

会員の皆様の技能や技術を生かして、シルバー人材センターの事業が大きな成果を挙げて頂いていることに、お礼と感謝するところであります。

結びに、藤枝市シルバー人材センターの発展と皆様方が健康に留意して頂いて、益々ご活躍されますことをお願い申し上げ挨拶といたします。

平成27年度収支予算（抜粋）

経常収益	４４９，７１７千円
事業収益	４１２，０４５千円
その他	３６，７３２千円
経常費	４４９，８１７千円
事業費	４３７，４８３千円
管理費	１２，３３４千円
経常増減額	▲１００千円

会員表彰

健康第一で活躍を

謝辞

新しい仕事に魅力を感じながら

西益津地区　鶴﨑美智博

本日、永年勤続者として表彰をいただきました。

僭越ですが受賞者を代表いたしまして、一言お礼の言葉を申し上げます。

シルバー会員としての10年は長いようですが、新しい多くの仲間と共に、様々な仕事に取り組む毎日はあっと言う間のことのように思われます。そして楽しい経験をすることができました。

これもひとえに大井理事長様はじめ職員の皆様の暖かいご指導・ご支援をいただきましたことと、厚くお礼申し上げます。これからも健康第一に仕事が継続できるよう精進してまいります。

最後になりますがシルバー人材センターのますますのご発展と会員皆様のご健勝と、ご多幸を祈念いたしまして簡単ですが謝辞といたします。

本日は有り難うございました。

平成27年6月20日

平成27年度定時総会　会員表彰者

瀬戸谷地区
小田　静枝　様

葉梨地区
秋山　和夫　様
戸塚美智子　様
縣　正恵　様
八木　康雄　様
森田あさ江　様
髙島　逸男　様
亀井　良浩　様
池野　勝夫　様
西ヶ谷武志　様
森下ノブ子　様
勝治　優雄　様

広幡地区
桒原　慎治　様

西益津地区
鶴﨑美智博　様

藤枝東地区
下山たけ代　様
内藤　政夫　様
永井　光江　様

藤枝西地区
山本　八澄　様
向島陽太郎　様
太田　洋子　様
野川　勲　様
篠崎　弘　様
小川　なみ　様

青島南地区
曽根　郁子　様
西澤　敏明　様
石井　ちよ　様
石井　武雄　様

青島北地区
山本　博司　様
小林　英男　様
曽根　幸雄　様
増田タカ子　様
加藤　昭二　様
鈴木　健司　様
藤田　忠男　様

高洲地区
佐次本音吉　様
村田　安司　様
増田　豊　様
菅沼　忠　様
大場　孝子　様

大洲地区
木下美枝子　様
横井　進　様
鈴木しづ江　様

岡部南地区
長谷川俊次　様
八木　英夫　様

岡部北地区
遠藤　義郎　様
小柳津茂弘　様
鈴木　善勝　様

第17期役員　よろしくお願いします。

6月20日の定時総会において役員が選任されました。
任期は、本総会の日から平成29年の定時総会までの2年間です。

理事長
大井　市郎

副理事長
岸本　孝夫

常務理事兼事務局長
松浦　光男

理　事
大島　靖之

理　事
小柳津茂弘

理　事
須永　誠三

理　事
田中　英雄

理　事
原川　　弘

理　事
原田　昌宏

理　事
平出　武男

理　事
松土　浩之

理　事
向島陽太郎

理　事
森谷　亮治

理　事
吉井　利次

理　事
秋田　弘武

監　事
大石　雅巳

監　事
三宅　　博

退任役員

増田久美子

大谷　久子

増田　達郎

～平成27年度の専門委員会～

委員会の事業目的と委員構成

藤枝市シルバー人材センターは、三つの専門委員会を設けて、センターの運営や事業活動などを行なっています。

各委員会とも、それぞれの事業目的をもって取り組み、イベントや講習会などを計画し、また、シルバー人材センター全体の事業活動を充実・発展させることに努めています。

◎委員長　○副委員長　（事）事務局

事業推進委員会

①中・長期計画の進行管理に関する事
②事業開拓に関する事
③未就業会員に対する就業相談に関する事

◎　小柳津茂弘　　大井　市郎　　（事）村越　祝広
○　原田　昌宏　　松浦　光男　　（事）望月　孝子
　　須永　誠三　　秋田　弘武　　（事）川村　泰子
　　吉井　利次

普及啓発委員会

①普及啓発活動に関する事
②機関誌の編集発行に関する事
③会員の拡充に関する事

◎　大島　靖之　　松土　浩之　　田中　英雄
○　向島陽太郎　　三宅　　博　　（事）茂川美代子
　　岸本　孝夫　　大石　雅巳　　（事）村松　正行

安全・適正就業委員会

①就業上の自己分析と事故防止対策の樹立に関する事
②その他、会員の健康と安全適正就業に関する事

◎　原川　　弘　　西脇　　力　　半田　泰子
○　森谷　亮治　　岡村　鐘康　　（事）村越　祝広
　　平出　武男　　萩原　利昭

平成27年度　組織図

（H27.7.20現在）
会員数 999名

理事長
大井　市郎

副理事長
岸本　孝夫

常務理事
松浦　光男

理　事
大島　靖之
小柳津茂弘
須永　誠三
田中　英雄
原川　　弘
原田　昌宏
平出　武男
松土　浩之
向島陽太郎
森谷　亮治
吉井　利次
秋田　弘武

監　事
大石　雅巳
三宅　　博

専門委員会
事業推進
普及啓発

安全・適正就業委員会

地区長班長会

事務局長
松浦　光男

事務局職員
村越　祝広　茂川美代子　村松　正行
小林　睦恵　望月　孝子　川村　泰子
仲田　益子　伊東　照代　小長井博文
坂巻代里子

地区	地区長（13名）	班長（79名）	会員
瀬戸谷	麓　俊彦	1班 麓　俊彦　2班 井口　静衛	13名
稲　葉	中本　勝久	1班 原田　昌宏　2班 中本　勝久	18名
葉　梨	池野　勝夫	1班 薮崎　邦夫　2班 森下ノブ子 3班 秋山　初男　4班 田端　正義 5班 小島　節江　6班 岩井　亮算 7班 池野　勝夫　8班 北村　誠治	102名
広　幡	小沢　務	1班 太田　勝己　2班 堀池　篤志 3班 小沢　務　4班 八木　元一	57名
西益津	西形　貫之	1班 八木　蕎二　2班 増田　恵一 3班 ※　4班 橋本　幹弘 5班 西形　貫之　6班 佐々木　信	79名
藤枝東	小澤　正吉	1班 小島　満昭　2班 高橋　茂 3班 由比藤　仁　4班 望月　広幸 5班 ※　6班 小澤　正吉 7班 深沢　正義	86名
藤枝西	野川　勲	1班 澤本　康逸　2班 野川　勲 3班 丸山　明彦　4班 田口　弘道 5班 村田　裕司　6班 八木小次郎 7班 小林　英樹　8班 田中　亮吉 9班 青山　安雄　10班 岡本　邦雄	107名
青島南	岩本　孝一	1班 渡辺　昭也　2班 滝沢　康祐 3班 井上　靖彦　4班 一藤　正義 5班 岩本　孝一　6班 西澤　敏明	78名
青島北	佐野　友信	1班 加藤　昭二　2班 ※ 3班 佐野　友信　4班 夏賀　夘吉 5班 永田　昌行　6班 松井　博 7班 小林　英男　8班 半田　護 9班 鷲山　延子　10班 増田つぎ江 11班 長崎　信行　12班 小澤まさ江	163名
高　洲	穂積　周作	1班 紅林　卓夫　2班 鈴木さとみ 3班 穂積　周作　4班 佐次本音吉 5班 岩崎　勝美　6班 千葉　穏志 7班 中津山幸治　8班 小澤　清二 9班 竹内　重則　10班 加藤　志津 11班 岡村　正孝	162名
大　洲	横井　進	1班 増尾　副男　2班 大石　嘉平 3班 横井　進　4班 内藤　廣 5班 碓井　直次　6班 森　はるえ	48名
岡部南	水野　計二	1班 水野　計二　2班 金子　隆男 3班 山口　幸江　4班 長谷川俊次 5班 牛山　弘	47名
岡部北	鈴木　善勝	1班 池田　章　2班 平野　利勝 3班 鈴木　善勝	39名

※未定

委員会だより

事業推進委員会

委員長　小柳津茂弘

就業開拓等で企業訪問すると、経営者の皆さん揃ってシルバー会員の仕事ぶりを、大変褒めて話していただけます。ところがシルバー人材センターも高齢化が進み、平成26年度の退会者の45％強が、加齢、病気を主な理由として上げている現状もしっかりと把握しておく必要があります。

世間の景気の現況がシルバー事業へも影を落とし、閉塞感のような重たい雰囲気もありますが、藤枝市シルバー人材センター30年の歴史と実績を踏まえ役員も、会員も、事務職員も一丸となって前に進んで行きましょう。

今後、先ず力を入れて取り組みたいのが地域との繋がりです。日々の活動の中で、「この仕事はシルバー人材センターが行っていますよ」という旗印を掲げ、各地で元気な姿を見せてセンターをPRすることも一案でしょう。加えて各地で入会説明会、地域懇談会を開催し、地域ニーズを掘り起こすなど、就業開拓の一助とします。また会員一人一人の口コミにより新しい会員を勧誘することも、会員増強と自分を見直す機会になると思います。

このような活動が福祉、家事援助サービス事業を具現化するのには大変重要で、今後異なる現場の短時間就労を複数まとめて一つの作業とする方法や、就業会員を地区ごとにグループ化して就業率アップに繋げる研究をしてまいります。自宅の近くで世の為になることができれば退会者を引き留める方策にも繋がります。

就業率改善ではシルバー事業週30時間制も言われているので、長期就労者の改善と未就業会員の就業促進を図る上で、ワークローテーションの見直しも検討しています。また、技術職の後継者育成の具体策として、知識、経験のある会員の方を講師としてセンター自前の講習会を開催することも考えています。

高齢者の経験や能力を活かした多様な就業機会の拡大と、適正就業を推進するため、就業開拓専門員等を配置する中で派遣事業の開拓にも積極的に取り組んでまいります。

普及啓発委員会

委員長　大島　靖之

最近生涯現役という言葉をよく耳にします。

高齢者の皆さんは健康で長生きをしたい、かなうことなら今までの経験を生かした仕事をしたいと思っている人も大勢いると思います。

藤枝市シルバー人材センターは、こうした考えをお持ちの皆様に、長年培ってきた、知識や技能、経験を活かして働いて頂こうと思っております。

現在、当委員会では、広報誌「シルバーふじえだ」を年二回、ミニ広報誌として、「ふれあいネット藤薫」を年一回発行しております。

本年度もこれらの媒体を通じて市民の皆様にセンターの活動の内容を紹介し、多くの方々に会員になって頂くために、更なる紙面の充実を図ってまいります。

センターに、ご入会を頂く場合には、必ず入会説明会を受けて頂き、入会するか否かはその後に決めて頂きます。

入会説明会は、現在毎月一回センターで開催しておりますが今後の開催場所については、地域に出向いて説明をさせて頂く方法なども検討をしております。

現在、センターにおける事業は、生活に密着した仕事を主に、草刈・植木の剪定をはじめ、介護、子育て、家事援助、買物支援等に対応しております。

個人、会社を問わず、小さな仕事、小廻りのきく仕事は、是非藤枝市シルバー人材センターまでご相談ください。

入会説明会風景

会員募集！

平成27年	9月24日（木）
平成27年	10月26日（月）
平成27年	11月24日（火）
平成27年	12月21日（月）
平成28年	1月25日（月）
平成28年	2月22日（月）
平成28年	3月22日（火）

会場　シルバー人材センター2階
時間　午後1時30分より

安全・適正就業委員会

委員長　原川　弘

当委員会は、就業上の事故原因の分析と、事故防止対策の立案及び会員の健康と安全（適正）就業に関する取り組みを実施しています。特に安全パトロールは、危険性の高い刈払機を使う除草作業や植木剪定作業をやっている現場へ行く頻度が高くなります。

今回新たに『安全パトロールチェック表』を作成し、草刈班21項目、植木班27項目に細分化され全て評価点式になっています。このチェック表を確認することで、委員や会員の安全意識も高まり、緊張感を持った作業が行われていると確信します。

安全・適正就業委員会委員による
就業チェック中

現在では各班『安全就業チェックリスト』に基づき自主的に朝の準備運動・ミーティングそして安全帽・安全帯の着用を徹底し作業に取り掛かっています。また草刈作業で発生する小石等の飛散による事故をなくすため、会員による飛散防護ネットが考案され事故防止対策として使用されています。

安全講習については草刈班では、毎年新規会員の刈払機取扱作業者の講習を受講し、操作技術や安全操作を取得してもらっています。また植木班については伐採等の作業で使用するチェーンソーは非常に危険を伴う動力工具ですので、会員の皆さんは自主的に教育機関で、チェーンソー作業に伴う特別講習を受講され資格を取得しています。

事故対策については最近自転車による通勤災害が目立ち始めました。当委員会としても、昨年12月に外部講師を招き「交通事故にあわないために」という内容で講義をお願いしました。60名を超す多くの会員に参加していただきました。

そして最後に事故防止は「自分のため」と云う認識をもってもらい講義を終了いたしました。

シルバー文芸

俳句

原田　祺七

青葉風　母校の校歌　何処からか

清貧や　朝採りきうりの　丸かじり

廃校の　噂も知らず　カンナ炎ゆ

塩澤　みゑ

葉桜の　トンネル抜ける　車椅子

思い出の　母藤房の　下に笑む

孫の手に　ハイタッチする　日除け傘

鷲山　延子

花卯つ木（はなうづき）　五度目の話　うなづきて

麦秋や　父母（ちちはは）私　麦背負ひ

燕子花（かきつばた）　昔に生きる　母さびし

草笛を　やっと鳴らして　仲間入

蛍狩　迷ふことなく　手をつなぐ

会員親睦旅行

11月21日(土)予定

旅行先は多くの候補を鋭意検討中です。決定したらお知らせしますので、楽しみにお待ちください。

あとがき

シルバー人材センターの年間最大の行事「定時総会」が過日開催されました。

藤枝市長様はじめ、市議会議長様・県議会議員様から頂いた祝辞の中で、会員の仕事に対する取り組む姿勢や出来映え等、お褒めの言葉を頂きました。そのお言葉は我々会員に対する期待をよせる事柄でもあると思いました。

会員は、シルバーがモットーとしている「礼儀正しく」「親切」「ていねい」「真剣な仕事ぶり」などを意識しながら積極的に業務を遂行して、シルバーの更なる発展のため精進したいと思います。